

警察委員会にて、さまざまな要望をいたしました。



県警察にFCEVとPHEV導入を要望

愛知県警察では、約2,900台の四輪公用車を保有。その内電動車はハイブリッド車222台、PHEV(プラグインハイブリッド)1台、FCEV(燃料電池車)1台の合計224台。「7年後の温室効果ガス46%削減の目標達成に向け、HVでなく設置数全国No.1の水素ステーションを活かしたFCEVとPHEVの導入をより強化すべき」との要望をいたしました。

平針運転免許試験場等、免許更新時の予約制度導入

新庁舎になった平針運転免許試験場の混雑について対策を伺いました。整理券配布などを行っているほか、2023年度内に「運転免許更新の予約制度」を警察署を含めた全更新拠点で導入予定とのこと。感謝を伝えるとともに、利用者への周知充実を要望いたしました。

自転車ヘルメットについて、若い世代への着用促進策検討を要望

令和5年7月に県下4か所で調査した自転車のヘルメット着用率は約8%。「岡崎市は年齢制限なし」「幸田町は年齢制限あり」など、自治体により状況は異なりますが、ヘルメット購入における補助金のPR強化は不可欠。また、若い世代に対して、影響力のあるユーザーによるSNS発信など、愛知県ならではの着用促進策の検討を要望いたしました。

働く仲間のために！ 政治を動かします！！



山口 たけし

愛知県議会議員(岡崎市・幸田町選出)
あいち民主県議団/副政策調査会長
警察委員会/デジタル化・地方創生調査特別委員会所属

プロフィール 1968年9月25日京都市生まれ/1992年に京都大学経済学部経済学科を卒業/同年トヨタ自動車に入社し、生産管理部に配属/てんびん座A型/妻と息子2人/趣味は読書とゴルフ、動画編集/休日は息子とラーメン屋巡りや愛車でドライブ/モットーは、「現地現物」「改善の精神」「当事者意識」で課題解決! 岡崎・幸田と京都はどこか似ている、と思う事多数。皆さんの岡崎・幸田あるあるを教えてください。

皆さんに影響のある、「県民の日学校ホリデー」や「ラーケーション」を取り上げます。

長かった異常に暑い夏が過ぎたと思ったら、秋から一気に冬になりそうな今日この頃、皆さん、お身体の具合はいかがでしょう？
今回は9月定例議会の内容に紙面を割くのではなく、愛知県が休み方改革として進める、皆さんとご家族にとって影響が大きい「県民の日学校ホリデー」と「ラーケーション」について取り上げ、私の考えを中心に

記載しました。
新しい取り組みに対して、ある程度の問題や、さまざまなご意見はつきものだと思いますが、愛知の休み方改革に対するご意見とご要望を、是非お伺いしたいと思います。皆さんにとって、身近な立場の議員として、今後の取り組みに活かして参りますので、引き続きのご支援をお願いいたします。

活動のご報告 岡崎市や幸田町を中心に、皆さんのご意見を伺っています。

9/26 岡崎市 阿知和地区工業団地 起工式に参加
令和8年度の完成に向け、「(仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジ整備事業」と同時進行するプロジェクトです。計画通りの進捗となるよう、今後の動向を注視して参ります。

9/25 岡崎がくどうの会つくしクラブを訪問
指導員の確保に大変な苦慮をされつつも、子どもたちの笑顔のために情熱を持って取り組んでいる実態を伺いました。県としてどのような連携強化が必要か、検討していかなければならない課題と受け止めました。

9/24 幸田町 消防団観閲式に参加
大迫力の各種訓練を拝見し、愛知県としても消防防災体制の維持に取り組んでいく決意をお伝えしました。

9/25 蒲郡市 学校法人 海陽学園を訪問
施設の立派さに圧倒されながら、校内を見学させていただきました。

9/27 愛知県の 定例9月議会が開幕
あいち民主県議団からは、代表質問を天野幹事長、一般質問は松本議員、江原議員、谷口議員、藤原議員、おおたけ議員、阿部議員が登壇しました。

9/28 大村知事主催 西三河県政 懇談会に参加
大村知事の愛知県政にける思いをじっくり伺い、改めて西三河をはじめ、愛知県の発展に向けて貢献して参りたいという思いを新たにしました。

知っていますか？ 愛知県の「休み方改革」

2023年より、愛知県「休み方改革」プロジェクトが発足しました。
このプロジェクトは、下の3つの課題から生まれたもので、「休みの質を高め、充実を目指し、その結果として働き方の質を高める」のが狙いです。

- 3つの課題
- ① 土日や連休に人が集中！
土日や連休に休む人が多いため、お出かけコストが高く、混雑により休みの質が下がる
 - ② サービス産業の繁閑差！
サービス産業(就業人口の5割以上が従事)は繁閑差が大きく、休日の少なさや賃金水準の低さ、定着率の低さなどが課題
 - ③ 家族の休みがそろわない
子どもが休みの日に働く人(土曜日45.5%、日曜日30%)も多く、家族そろって過ごす時間がつくりにくい

コロナ禍でインターネットを活用した働き方が進んだ今だからこそ、柔軟に休みが取れるように「休み方改革」を進めていく必要があります。皆さんには、ぜひ取り組みへの関心を持っていただき、率直なご意見をお寄せください！



中面では、「休み方改革」のQ&Aを紹介します！

ご意見などございましたら 下記までご連絡ください。

発行 山口たけし事務所
〒444-3176 岡崎市真伝吉祥1丁目15-20
TEL: 0564-21-6376 FAX: 0564-21-2388
E-mail: takeshi-yamaguchi@tmwu.or.jp



お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



「あいちウィーク」や「県民の日学校ホリデー」、「ラーケーションの日」など、2023年9月から「休み方改革」が本格的にスタートしました。「休み方改革」への疑問をQ&Aで説明します。

愛知県「休み方改革」プロジェクト、始動！

休み方改革の概要

- 11月27日を「あいち県民の日」に指定、あいちウィーク（毎年11/21～11/27）にイベント開催、一部施設の使用料等減免
- 休み方改革マイスター企業認定制度※1の創設
- 県民の日学校ホリデー※2の創設・実施、ラーケーションの日※3の創設・導入への環境整備
- 混雑を回避した旅行を促すキャンペーン、あいちの魅力発見バスツアー※4の実施

私が皆さんの疑問にお答えします！

「休み方改革」が目指すのは /

ワーク・ライフ・バランスの充実

生産性向上による経済の活性化

Q 「休み方改革」は何のためのプロジェクトですか？

A. 休みの質を高め、かつサービス産業の課題改善を目指す取り組みです。

土日や連休でなくても、柔軟に休みが取れる環境づくりを目指しています。平日に休む人が増えれば、サービス産業の皆さんは働きやすくなり、サービスを受ける側も混雑を回避できて費用も安価に収まります。また、家族と一緒に過ごす時間をつくりやすくなる狙いもあります。みんなが少しずつ幸せになる取り組みだと思います。

（休み方改革が進み、平日に休む人が増えると）

平日に休んだ家族

サービス産業で働く人



平日の遊園地も、空いていて大満足！



休みが取りやすくなった！

混雑回避&コスト減

土日・連休の混雑緩和

「お互い様」の良い結果に!!

11月1日(水)

平日に休みを取って、ジブリパークへ行ってみませんか



「もののけの里」が開園します！

愛・地球博記念公園内「ジブリパーク」の第2期エリア開園日が決定しました。2023年11月1日(水)には「もののけの里」、2024年3月16日(土)には「魔女の谷」が開園します。「もののけの里」は、映画『もののけ姫』に登場する和風の里山風景をイメージ。体験学習施設「タタラ場」で五平餅作りが体験できるほか、子どもたちが滑り台として遊ぶことができる「乙事主(おっことぬし)」の遊具もあります。



2023年11月1日(水)に開園する「もののけの里」



2024年3月16日(土)に開園予定の「魔女の谷」(イメージ)

© Studio Ghibli

Q

「県民の日学校ホリデー」※2をつくる必要があるのでしょうか？



A. 県民の皆さんに、「休み方改革」について考えるきっかけにしたいです。

愛知県独自の休みを設定し、学校を休日にする事で、「休み方改革」について考えてもらうきっかけになると思います。賛否両論あるのは当然です。賛同できる方は休日を有意義に過ごすことを考え、賛同できない方もこの取り組みが行われる理由を少し感じ取って考えていただきたいというのが私の思いです。

Q

「ラーケーションの日」※3はどう利用すべきでしょうか？



A. テーマ性を持って、いつもと違う休日を家族で過ごしましょう。

我が家にも小学生の息子がいるため、「ラーケーションの日」の案内が学校から届きました。「せっかく時間が使えるから何をしようか?」と、さっそく家族で話し合いました。息子は歴史上の偉人が好きなので、「岡崎をはじめ、県内にさまざまな戦国武将などの名所旧跡を訪ねてもいいね」と話しています。お金をかける必要はありませんが、何かテーマ性を持って、いつもと違う休日を家族で過ごしてみるとよいのではないのでしょうか。案外、地元の良さの再発見につながるかもしれません。

LEARNING + VACATION



Q

「休み方改革」の実施において一番の課題は何でしょうか？



A. サービス産業の人に、どう休みを取ってもらうかが課題です。

土曜・日曜に働いている人に、どう休みを取ってもらうか。お客様が集中するから、平日以上に働かざるを得ない事情があるわけです。一方で、本県の元気な製造業で働く方が平日に休めるか。とりわけ中小零細企業では、現実的に平日に休めるかという課題があります。社会全体で休みが取りやすい雰囲気をつくりながら、各企業で代替要員の確保やさまざまな工夫をいただく必要があります。人口が減少する中、高齢者や学生、外国人の方に、働く場でさらに活躍していただく枠組み整備も必要です。

Q

課題はどう解決していけると考えていますか？



A. 本音で言えば難しさはさまざまあると思います。

ですから、私たちみんなが本気になって考え、少しずつでも改善していくことが大切です。

「難しいからできないよ」で終わらず、どうやったら「休み方改革」が実現できるのか。企業や職場、家庭などで話し合ってください。課題や意見を職場や行政に届けていただく。私たちみんなが本気になって考え、少しずつ改善を進めていく必要があると思います。また、充実した休みが取れる企業に、若い世代は魅力を感じます。難しいのはわかっていますが、企業経営者の方をはじめ、働く仲間の皆さんにはぜひ知恵を絞っていただき、行政への要望も聞かせてください。



山口たけしの思い

介護や建設、運転手など、日本全体で人手不足が問題になっている中で、繋閉差が大きいサービス産業の抱える課題は特に深刻です。

サービス産業の方々だけでは解決できないため、国民みんなが意識を変えて、協力する必要があるのではないのでしょうか。



「自分のためではないけれど、回り回って自分に返ってくる」。お互い様の気持ちで、第一歩を踏み出してみるのが大切だと思っています。

※1 有給休暇取得に積極的な中小企業等を奨励する制度。認定企業は、ロゴマークの使用や企業活動を支援する優遇措置などが受けられる
 ※2 愛知県の公立学校(幼稚園・小中学校・高等学校・特別支援学校)では、11月21日～27日の「あいちウィーク」期間中1日が休業日になる
 ※3 「学習(ラーニング)」と「休暇(バケーション)」を組み合わせた新しい学び方・休み方。年3回(2023年は2回)取得可能で、子どもは学校に登校しなくても欠席にはならない
 ※4 「あいちウィーク」期間中の平日に実施する、愛知県の魅力を発見する県民向けバスツアー